



広島同窓会会報

第30号

発行
広島工科大学同窓会
編 集同窓会編集委員会
731-51 広島市佐伯区三軒丁B1-1
広島工科大学内
TEL.082-921-3121 (内線)570

「私の父」

同窓会会長

道田 憲治

6月9日、日曜日、佐伯郡大野町の宮浜温泉で、父の88才米寿の祝いを、叔父、兄妹夫婦17人で行いました。私の司会が始まり、兄達の高吟で宴も盛り上がり、両親の昔話で涙あり、笑いあり、楽しくすばらしい感動あふれる親孝行が出来ました。

父は、戦前、製材所を営んでいましたが、戦時体制下に製材機等が、黒の統制下になり、今の原爆ドーム、県産業奨励館に勤務する事になりました。そして昭和20年8月6日、原爆投下直前10数分前まで中におりました。

私は、六男一女の7人兄妹の六男で、兄達のお下がりです。大学入学生時の学生服は四男兄のものでした。その点妹は、ほとんどおニューで(新品)、今考えてみますと戦国時代の、お姫様のように思います。

長男兄は、機械いじり、特に飛行機が好きだったようで、広島電機高校(鶴学園)2年生の時、子科練に志願し、学校あげて、壮行会を行ってもらったとか……。

長男兄は、終戦後、無事元気で帰国し、私が小学校一年生の時結婚しました。

(後に見から聞いた話ですが、「終戦がもう1週間経ったら、神風特攻隊で帰らぬ人となっていた」と……)それから次男、三男と結婚し独立して参りました。

父は、昔から「兄妹は、仲良くせいやいけん、特に世帯を持たら、なおさらじゃ。」と言ひ、道田の交わる会、「道交会」を発足させ、結婚し家庭を築いたら、毎月会費を「道交会」に納める様になりました。そして、もし兄妹で困った事が起れば、各家庭に無理を言うのではなく、会より援助する様にし、事が起らなければ、祝い事に使う。そして規約を決め、子供の誕生、小学校、中学、高校、大学への入学祝い、そして就職、結婚、新築と、全て会の方から祝金が出され、祝福された者は、各家庭にお礼の電話等をかけ、お返しは一切なしです。

道交会のメンバー全員が集まるのは、年2～3回(春、夏、冬)で特にクリスマス兼忘年会には、今でも朝8時から午後3時すぎまでかかって餅つきを行っています。それは、とても楽しく賑やかです。

現在、孫が14人で、ひい孫が、15人、総勢64人です。少し大世帯になりましたので、孫達世代の「第2道交会」を考えて、発足の準備に入っています。

父は、兄妹が、仲良くする事は、子供同士が仲良くなり、孫同士も仲良く

なり、ひいては回りの人達とも仲良くし、人間にとって、もっとも大切な「謙虚な思いやりの心を持つ」事を、教えてくれている様な気がする。

私には子供が2人ですが、父の様な人間になりたい。

史跡啓申から世界遺産へ

原爆ドームは 戦争の悲劇 教えてくれる

投下直前まで産業奨励館にいた(左)の田中久

運命の偶然さ痛感

同窓会個人 堀 亮

原爆ドームは、広島市佐伯区三軒丁に位置する、第二次世界大戦中の広島原子爆撃の被害状況を伝えるための史跡である。このドームは、戦前、産業奨励館として建設されたが、1945年8月6日の原子爆撃で壊滅した。戦後、このドームは、戦争の悲劇を伝えるための史跡として保存され、1996年に世界遺産に登録された。

同窓会個人 堀 亮

原爆ドームは、広島市佐伯区三軒丁に位置する、第二次世界大戦中の広島原子爆撃の被害状況を伝えるための史跡である。このドームは、戦前、産業奨励館として建設されたが、1945年8月6日の原子爆撃で壊滅した。戦後、このドームは、戦争の悲劇を伝えるための史跡として保存され、1996年に世界遺産に登録された。

第31回定期総会の報告

広島工業大学同窓会 幹事長 大林 眞

1. 総会・懇親会のご報告

平成8年度の広島工業大学同窓会総会は、平成8年4月27日(土)午後4時30分から午後5時、懇親会が午後6時より午後8時まで、広島県民文化センターで開催されました。また本年も昨年と同様に総会に先立ち、各支部より支部長に出席いただいて支部長会議を開催いたしました。

今年度の支部長会議は開催時間枠を昨年

までの1時間から3時間に拡大(午後1時~午後4時)し、各支部の現状報告からはじまり、各支部の活性化あるいは同窓会本部に対する要望など熱心に議論していただき、今後の同窓会本部と各支部の協力体制づくりに、非常に有意義なひとときであったと確信しております。

総会は道田憲治会長の挨拶にはじまり、出席者の中より、復建調査設計株式会社の森野輝氏が議長に選出され、議長の議事進行により総会は進行されました。先ず、村中幹事より平成7年度の主な活動内容についての報告があり、続いて平成7年度の会計報告、会計監査報告がありました。



した。

次に新幹事長の大林より平成8年度の活動方針案および予算案の提案がありました。承認され、本年度の同窓会役員は別記のとおりです。

総会終了後、懇親会、川崎学長をはじめ各学科、各部局の教職員の方々を交えた懇親会が開催され、総長、学長より心暖まるお言葉をお聞きしました。

また、広島工業大学グループクラブに暖かく披露してもらい、宴を盛り上げました。懇親会は終始ごやかな雰囲気で行われ、最後は参加者全員が一つの輪となって広島

工業大学会を合礼し閉会しました。

来年度も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

II. 平成8年度活動方針

平成8年度の活動方針につきましては、支部を含めた同窓会活動の活性化を柱として、活動してゆく考えであります。以下に定期活動方針を別記しております。

- (1) 総会、会報の発行、(2) 同窓会名簿の発行、(3) 同窓会名簿に関するメンテナンス、(4) 支部活動(佐賀支部の発足と支部の連携)、(5) 在学生援助、(6) 同窓会業務の大学の連携、(7) 財産管理

平成8年度 同窓会役員

相談役	氏名	学年	学科
	中原 重男	41	電子
会長	永見 善吉	42	経営
副会長	湯田 善治	45	経営
	植田 好二	44	機械
	寛谷 新一	47	土木
	山本 健次	44	建築
	井手 茂彦	43	機械
幹事長	大林 眞	55	土木
幹事副長	松広 宏	48	経営
	村中 昭典	59	土木
会計	寺地 純二	41	電子
	水添 健治	61	機械
	加藤 孝吉	114	経営
会計監査	中西 助次	43	機械
	菅 雄三	50	土木
	新保 栄一	45	経営
書記	中畑 佳二	115	〃
	中村 憲治	H7	機械
幹事	砂田 雄二	39	電子
	村田 弘志	41	〃
	川畑 敬志	42	〃
	玉野 和保	44	〃
	重広 孝則	46	〃
	湯尻 照	39	電気
	藤上 憲治	42	〃
	原田 義治	42	〃
	沖根 光夫	44	電子
	丹山剛之丞	42	〃
	松江 孝博	43	機械
	小西 正明	43	〃
	森茂美治郎	43	〃
	小池 利明	52	〃
	吉田 和信	55	〃
	山下 一彦	55	〃
	鈴木 文寛	62	電子
	松岡 幸弘	63	機械
	伊藤 秀哉	45	土木

幹事	氏名	学年	学科
	手越 義博	49	〃
	西田 弘廣	45	経営
	西野 達夫	49	〃
	高野 昭	49	機械
	近森 隆	45	経営
	石堂 豊	45	〃
	阪井 元雄	43	機械
	中田 時生	46	機械
	植村 邦彦	56	建築
評議員	福原 潤一	38	電子
	倉本 昭記	38	〃
	大森 寿男	42	〃
	森田 善康	42	〃
	大森 忠昭	44	〃
	山本 康博	55	〃
	森本 房藏	41	電気
	藤村 洋	48	〃
	松原 昌弘	51	〃
	木村 一彦	44	機械
	坂本 幸雄	45	〃
	舛 勝茂	46	〃
	藤川 正博	47	〃
	松村 祐典	51	〃
	新居 敬春	51	〃
	藤生 進夫	46	土木
	外塚 昌志	60	〃
	三上 明夫	44	建築
	中塚 隆夫	44	〃
	加藤 憲子	45	〃
	下田 卓夫	50	〃
	森 正三	53	〃
	峠 孝司	45	経営
	前原 日出明	49	〃
	岡本 健二	53	〃

平成7年度同窓会会計報告

《収支決算》	
平成7年度総収入	36,074.130
平成7年度総支出	33,739.736
残高	2,334.394
《収入の部》	
平成6年度繰越金	4,077.857
入会金	3,006.000
終身会費	16,382.000
総会費	4,113.000
雑収入	8,375.630
預金利息	139.643
合計	36,074.130

《支出の部》	
印刷製本費	7,933.575
会費	5,080.366
支部費	337.000
助成費	936.951
通信運搬費	7,724.621
消耗品費	843.510
旅費交通費	1,056.120
役員手当	32.000
委託費	1,314.465
保守費	989
福利費	9.762
庶務費	0
賃借料	8,800
備品費	0
雑支出	17,922
同窓会基金繰入金	1,000.000
奨学金繰入金	900.000
30周年記念品	6,080.600
助成費剰余金	463.049
予備費	0
合計	33,739.736

《基金の部》	
平成6年度繰越金	126,853.937
本会計より繰入	1,000.000
雑収入	2,234.970
預金利息	0
本会計へ繰入	△ 4,500.000
合計	125,678.907

《収支決算》	
平成7年度総収入	19,091,662
平成7年度総支出	900,000
残高	18,191,662

《収入の部》	
奨学金繰入金	17,051,135
基金	900,000
助成費剰余金	463,049
利息	278,098
寄付金	399,380
合計	19,091,662

平成8年度予算

《収入の部》	
平成7年度繰越金	2,334.394
入会金	3,294.000
終身会費	19,352,000
総会費	500.000
預金利息	100.000
雑収入	100.000
合計	25,660.394

《支出の部》	
印刷製本費	5,734.000
会費	1,770.000
支部費	750.000
助成費	1,420.000
通信運搬費	6,540.000
消耗品費	1,213.000
旅費交通費	1,500.000
役員手当	32.000
委託費	2,000.000
福利費	0
庶務費	0
賃借料	150.000
備品費	120.000
雑支出	0
同窓会基金繰入金	50,000
同窓会基金繰入金	1,000.000
予備費	900.000
合計	2,381,394

奨学会会計報告

ご注意

最近、電話で同窓会あるいは同窓会より依頼を受けた業者と名乗り、卒業生に対し住所、電話番号等の調査をしたり、名簿を販売しようとする事象が発生しております。同窓会でおこなっておりますのは、毎年発行の同窓会誌・会報同封

の連絡先調査票による調査のみで、その他の手段での個人データ調査は行っておりませんし、名簿の売買についても調査から電話、ハガキ等での申し込みは一切行っておりませんのでご注意ください。

四国4県最後の同窓会高知支部発表

同窓会高知支部長 田中 顕一

(株)高知放送 勤務

(昭和44年電子工学科卒)

年に一度の年賀状のやりとりでお互いに元気やっていることは分かってはいたものの、突然の懐かしい広島からの電話に一驚しました。

昭和44年の卒業と同時に故郷である高知で地元の民間放送局に勤務して、あっという間に四半世紀が過ぎ去ってしまいました。多様な二十歳前後の4年間を過ごした五日市のキャンパスや下宿は折時折にみることはあっても、ほとんど過去のものになっていました。

「もともと、横田じゃが…」懐かしい広島弁の彼の声が聞こえた。同窓会副会長の横田好弘氏からの電話である。彼はと学生時代、学科は違っていたが経営学部でお互いにトロンポンを吹いていた仲である。「久しぶりじゃのう。」から一通り話が終わると、「実は、同窓会の高知支部の話じゃが…」この一本の電話が平成8年春の広島工業大学同窓会高知支部発表のきっかけとなりました。前年の夏のことです。

ほんとうのところ、この話にはあまり喜びでもありませんでした。仕事も忙しいが工夫すれば何とか時間は取れる、それくらい一番心配したことは顔見知りの同窓生が4、5人しかいないこと、そして先入観から「堅苦しい同窓会」そのものもあまり好きではなく、横田氏には申し訳なかったのですが半ばお断りの返事しかできませんでした。

「とにかく高知県内在住の同窓生名簿を送るから、」彼の言葉でひとまず電話を切ったのです。

ところが、数日後送られてきた名簿を見て驚きました。30人位かな、と考えていた同窓生が何と百名以上もいるのである。さらに私と同業者で、10年以上も仕事上お付き合いのある同窓生がいたには、びっくりするのと同時に懐かしい気持ちも。

とにかく、送られてきた名簿から各学科の各年代層の同窓生に電話、快く11名の方々が集まってくれ支部発表について意見交換を行いました。

その会には同窓会の横田氏、小西助教にも、わざわざ高知までお越し頂き支部発表についての説明を伺った。全員一致で高知支部の発表を決定、その場で発表会の日取りまでも決まりました。このジャンボの早さには驚いたのはどうやら私だけだったようです。

平成8年3月16日の高知市での発表式



には、遠路はるばる、また3月期末の多忙な中、副会長は高知へ来て大学同窓会から3名の方々にご出席いただきました。そして、東横線は広島県下各地から28名の同窓生が集まりました。

一通りの発表セレモニーのあとの祝賀会では、総長のユモアあふれる節回しでのお祝辞のあと、自己紹介を兼ねて各自それぞれの広島五日市での思い出話を一人一人がマイクの音で語り、日傘連れのあじさんにも再春時代が一時帰ってきたように時隔の過ぎるのもあれど話がはずみました。



広島は今ここで山陽新幹線、高速度道路が整備され日増しに華やかです。しかし昭和40年代前半が学生時代であった私にとっては、時局的感覚ではかなり遠方に感じられました。そのころ、大学周辺には人もまばらで、田園風景の中にキャンパスがありました。市街化した現在とは学生気質もまた違っていたと思います。発表会に参加した同窓生は、学生番号で38117から90C166までの概ね30年の年代層の方です。この他に百名近い同窓生が地元の各企業、公務員、自営業で頑張っております。

太平洋に面し、温暖で自然環境に恵まれた高知県ではありますが、険しい地形のため交通、情報の流れが阻まれて産業基盤に乏しく、老本県、過疎県といわれてきました。しかし四国山脈に産産高速度道路が整備され、40分もあれば太平洋側から瀬戸内側に抜かれます。ご存知の通り本州とは瀬戸内海で道路、鉄路とも陸続きになります。数年後には合計3本の橋と中国、阪神方面との時間距離が大幅に短縮されます。これにあわせて太平洋に突き出した外洋港である高知新港も完成間近です。

このように南国風気も運轉きながら変革期を迎えようとしており、同窓生の活躍の場も広がってくるのではないでしょうか。そして同窓生のより強いネットワークが大切になってくるものと思います。

同窓会発表式には、懐かしさで参加して下さった方が多かったです。苦しみ、また楽しかった学生時代を再訪し高知から4年間、軽元を離れて過ごした仲間です。堅苦しい会ではなく2回、3回目の同窓会、懇親会にも幅広い年代層の同窓生が気軽に参加してもらえ、細くても永い会になればと念願しております。

未事になりましたが、高知支部発表会で大波お世話になりました同窓会の横田副会長、機械工学科の小西助教には紙面をお借りいたしました。心よりお礼申し上げます。

発表したばかりの同窓会高知支部、どうぞ宜しくお願い致します。



工大すぷりっと

近況報告 PART I

島田 昌士

(平成4年電子工学科卒業)
理化学工業株式会社



東京に出てきて4年の歳月しかたっていませんが、大学生活がかなり昔の事のように感じられる今日この頃です。

自分は、東京に本社のある理化学工業という制御機器をメインに造っている会社に就職し、制御関係の開発・設計の仕事をしています。自社製品は、主に遠隔制御に使われ、プラスチック業界に大きなシェアを持っています。また、半導体業界や、恒温槽の温度制御などにも携わります。

事務の1～2年目は仕事の内容が会社内のごとを吸収することを中心にやったのですが、5年目ともなると、回りの状況や自分の現状などが定着してきたと思います。それだけに、自分の弱みや欠点などもかなり見えてきているつもりなのですが、なかなか克服出来ず、申し訳なく思っています。こんな時節とも、皆さんも経験してきているのでしょうか？

まああはれ、がんばるしかないと思ながら仕事に取り組んでいます。

仕事以外のことを少し話しますと、こちらでも学生時代の先輩や友達と遊んでいます(がたまに会って飲みに行ったりです)。最近、東京から広島に戻る友達が増えていて少し寂しくも思います。しかし、会社の出張や遊びなどで東京に来ると連絡をくれる時などうれしく思いますし、自分が広島に帰省した時につきあってくれる友人が数多くいることは、こちらで生活していても心強くて感じています。

年末に行われている重産ゼミO会にもなるべく顔を出そうようにしています。東京に出た来て大学時代の先輩や友人達に会う機会が減ってきているなかで、貴重な思い出一時を過ごすことが出来ていることは、この場をかりて企画して下さいの重産先生と在学生の皆様にお礼申し上げます。

自分の近況はこのよう感じですが、同窓生の皆様もお体にはくれぐれも気を付けて頑張ってください。

近況報告 PART II

井上 一

(昭和57年電気工学科卒業)

日本システム開発株式会社津山事業所 所長
inoue@lucksnet.or.jp



仕様書や取扱説明書には多少書き慣れているが、こういった文章は苦手であるのですが、軽い気持ちで書かせていただきます。

私は昭和57年に卒業後、大抵の経験メーカーでマイクロコンピュータ内蔵の電子天秤の開発に携わりました。その後、現在働いている日本システム開発株式会社天津の出身地の岡山県津山市に事業所を出すと聞いて募集があり、思いきってリターン転職しましたが早いものでもう10年も経ってしまいました。

日本システム開発株式会社は1972年に日本初のマイクロコンピュータシステムを開発し、商品化したメーカーで、現在中小企業の特徴を生かした小回りの利く商品開発、システム開発を行っており、受託開発・特注システムの他、自社ブランドとしてコンピュータ周辺機器、特に磁気カルドリーダー/リーコーダーなどのデータ入力機器を開発しています。私が担当している仕事は自社製品の設計・開発・サポートやFA・OAなどの特注システムのシステム設計・開発・保守等と中小企業ならではのマルチプレーヤーとして活躍しています。

話は飛びますが、最近特に関心を持っていることにインターネットがあります。何か仕事に活用できないかと試行錯誤しております。そんな中、ある日工大のページを見ました。既にご存じの方も多いと思いますが、皆さんも一度アクセスしてみたらいいかがでしょうか。できれば、インターネットを通じて同窓会同士が気軽に電子メールなどのやり取りができるようになれば、コミュニケーションの輪が広がります。

新しい技術革新の中、同窓生の皆さんご苦勞の連続ではありますが、ご健勝のご活躍をお祈りいたしております。

1996年6月吉日

学生自治会 学生自治会会長 児玉 征久

皆さんはじめまして。学生自治会会長を務めている電子工学4年の児玉征久です。我が学生自治会執行部は数年前部長不足のため存続も危ぶまれてきましたが、現在部員数60名を超え、より充実した組織へと変わってきました。また、広島工業大学もここ数年で、環境学部が設立し、大学院にも博士課程ができ、大学として益々発展してきており誠に喜ばしいことだと思います。

さて、我が活動状況ですが、学生自治会の中にある執行部、文化局、工大実行委員会は、マンリ化になることはやめよう、との学生がどのようこのことを望んでいるかということを考えている工夫し加行事をしています。ですが、なかなか学生が行事に参加してくれないこの問題にも頭を悩ませています。

また、我が執行部は学生からアンケートをとり、毎年大学側に申し要望を言っています。でもなかなか開きを入れてくれず年毎に要望が後方に出てきます。しかしその中で先着改善の要望がようやく取り上げられ、今年5月の5月で新しい売店がつかれました。この売店は今まであった売店と違い、コンビニ風であり、広く、清潔で、品物もたくさんあり、接客態度も良く、われも母を要望してきたかいが実現しています。これからもう工大が学生生活を快適に送れるよう、頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、先陣の方々の御健闘をお祈りいたします。



在学生だより

文化局 文化局長 白砂 俊明

我が学生自治会文化局は、文化系サークルのまとめ役として日々活動しています。

第32期文化局より前2年間、文化局役員不足のため自治会執行部の方が文化局を運営されていました。だから第32期文化局は、ほとんどにも分らない状態から新しい文化局のスタートでした。自分は第33期の任職の12月から入り当時自分は2年生で仲間は、3年生が10名、2年生が2名でです。学年がひとと違った4月は1、2、2、3名で4、1、2名入り第33期の任期を最終的には18名で終了した。その中で起きた色々な問題や改善点を今まで先陣の方が残してくれたものから解決方法を名づけておきたい。現在、第33期文化局が1年生を新たに7名を加え全15名で取り組んでいます。

我が局は、2期より現在、第33期文化局が1年生を新たに7名を加え全15名で取り組んでいます。この行事をもっとよくと良くしていこうと考えてあり、そのことが広島工業大学のさらなる発展へとつながるでしよう。文化系サークルの實力を知るために1度見に来て下さい。

最後になりましたが、同窓会の方々にはサークルのために多大なご御援助ありがとうございます。これからも同窓会の方々にご迷惑をかけるとは思いますが、今後ともご支援、ご協力ほどよろしくお願ひ申上げます。

体育会 体育会本部長 森重 和哉

“悔いなき大学生活とは”
現在、私は就職活動の真っただ中にあり、入社試験の対策に追われています。そうした中で、自分もどのようにアピールできるかが重要で、それは会社社どのような人間を必要としているかということが前提となってきます。

はさて、全般的に会社社どのような人間を希望しているのでしょうか。自分なりに考えたり、話を聞いていろいろと少しずつ見えてくるもので、それはあくまで特に大学生活の間に、実体験を積み重ねてきた人間ではないかという点であります。自ら「私という人間です」とアピールしても、初対面の人にはそれほどよく分らないと思います。それよりも、「私はこんなことをしてきました」との方が通用できます。

私たちは、大学生活の中で何をつかみ、自分のものにすることができるか。また、できでよいよう。

先日、体育会主催により行事、体育祭開催されましたが、毎年のことながら学生の参加が少なく、学生の行事に対する意欲の弱さを痛感しております。学生の間は、何でもやろうという気持ちが大切ですが、学生の皆様は、学生の間、どのような学生生活にしたいか、何をされたいか、また、後悔はないでしようか。ないでであれば、大学の最後として、うれしく思います。そして、私もつと後悔のない大学生活をおくるのです。

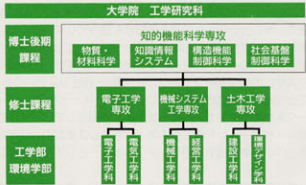


体育祭の大作制作

夏夏夏夏夏だより 広島工業大学

学問領域の統合をめざしユニークな理念に立つ大学院工学研究科博士後期課程「知的機能科学研究科」の発足

広島工業大学では学問体系が確立している学部を基礎とし、より高度な研究・開発技術者を養成する既存の工学系(電子工学、機械システム工学、土木工学)3専攻の上に、新たにこれらの学問領域の統合を目指してユニークな理念に立つ博士後期課程「知的機能科学研究科」が今年4月から発足しました。このことは、本学が真に国際的に通用する最高学府としての研究・教育体制の整備を確固としたことを意味します。別に今後は、環境学部の完成年度に当たります。本学は、引き続きこれに博士課程を設け、専攻とその準備を進めていきます。やがてこれらも今年発足した博士後期課程に合流し、名実共に、本学が誇る知的機能科学の「イノベーション」の役割を果し、社会に貢献することができるとしています。



平成9年度の入試日程が決まりました

試験区分	出願期間	試験日	合・否発表日
新入生(学部)	一般 社会人	平成8年4月28日(土) 5月7日(日)	平成8年5月14日(土) 平成8年5月19日(木)
	日科	平成8年2月24日(土) 3月5日(日)	平成8年3月13日(土) 平成8年3月18日(木)
推薦生(学部)	自由推薦	平成8年11月1日(日) 11月11日(日)	平成8年1月11日(日)
	指定推薦 学内推薦 社会人推薦	平成8年11月7日(土) 11月13日(土)	平成8年1月29日(土) 平成8年1月29日(土)
推薦生(大学院)	一般	平成8年1月13日(土) 1月23日(日)	平成8年2月1日(日) 平成8年2月2日(日)
	センター	平成8年2月13日(土) 1月28日(日)	平成8年2月13日(土)
推薦生(学部)	一般	平成8年9月18日(土) 3月3日(日)	平成8年9月4日(土) 平成8年9月12日(土)
	センター	平成8年9月18日(土) 3月3日(日)	平成8年9月4日(土) 平成8年9月12日(土)

広島工業大学の入試に関するお問い合わせは

広島工業大学入試事務室(082-921-3121)へどうぞ。大学院についてもご案内いたします。

同窓会地域支部情報

- 佐賀支部発会式
10月5日(土) 18:30~
ホテルニューオヤマに於いて開催
- 長崎支部発会式(第18回)
10月26日(日) 18:00~
長崎市内 出雲館に於いて開催
- 香川県支部発会式
12月 開催予定
- 愛媛支部発会式
11月2日 開催
南宮宮会館に於いて開催予定
- 岡山支部発会式
10月26日(日) 17:30~
ホテルニューオヤマに於いて開催
第5回総会という節目の年となります。
多数のご参加をお待ち申し上げます。
- 熊本支部発会式
平成9年1月7日(日)
熊本交通センターホテルに於いて開催予定

- 平成8年福岡同窓会会員名簿頒布予約
申込価格 1,693,000円(送料込み)
- 発行予定 平成9年3月末
- 申込方法 会員番号(学生番号)、卒業年、学歴、氏名、送付先を明記のうえ、広島同窓会事務局へハガキ又はFAXにてお申し込み下さい。

- お支払方法 後日連絡いたします。
(同窓会正会員以外の方は領収書いたしません。)
- 連絡先 広島工業大学同窓会事務局
〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1
T.E.L (082)921-3121(内570)
F.A.X (082)922-1925

同窓会頒布金基金へのご寄付のお願い
同窓会頒布金の財源は、会員皆様からのご寄付によって創られています。資金確保のため、ご協力をお願いいたします。要領は下記のとおりです。
金額：1口 1,000円
送付方法：郵便振替(同窓会振替用紙をご利用ください)

編集後記

夏本番、暑い日が続きますが、会員の皆様方におかれましてはお元気で過ごしてでしょうか。

7月に入りまして、来年度に就職を控えた院生・学部生の就職活動が

本格化してまいりましたが、「超夏季期」が臨み始めたというものの、厳しさは変わりない状況です。就職に関する情報がごさいましたら、同窓会の方へご連絡いただければ幸いです。

広島国体の秋季大会で、1994年のアジア大会に続き本学記念体育館が

インドホール競技の会場となっていますので、この機会に母校の方足を運んでいただけたらと願っています。

最後に皆様方のご声援とご健康をお祈りいたします。
(同窓会報編集委員一同)